

Noh Kyogen
KANZE KYUKOHKAI
14 February 2021(sun)
Yarai Noh Stage

観世九臈会

かんぜきゆうこうかい

二月 定例会

令和3年2月14日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)
13:40終演予定
—客席入れ替え—
【第2部】15:00開演(14:30開場)
16:35終演予定

※新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、当面の間、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演を開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようお願いいたします。

主催：公益社団法人 観世九臈会

感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- 体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- 入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- 37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- 上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- 喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- 場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- 水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ブランケットの貸出は当面いたしません。
- 換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- 出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。
- 矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- 上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- 舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- 公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- 場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- 1部、2部の入替時に館内消毒作業をいたします。
- 1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- 万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。
皆様の健康と安全を第一に考えております。
皆さまにはご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臈会

全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円
学生券(脇正面・中正面) 2,200円

※学生券は26歳未満(要学生証)・未就学児入場不可

お申込み・お問合せ：矢来能楽堂・観世九臈会
電話：03-3268-7311 FAX：03-5261-2980
メール：yarai@eos.ocn.ne.jp
<http://yarai-nohgakudo.com/>

能楽書林

『横からみた能・狂言』
柳沢新治著
在来Nohの能楽史に携わった著者が著した、現場ならではの「横」から見た「能」の歴史。能の歴史をひもとく、能の歴史を「横」から見た。この思いのこもった歴史書は、能楽界の目撃者として、パラエリ小説「能楽合」の内容を一緒にまとめた対談集。

四六判・三三三頁
本体一〇〇〇円十税

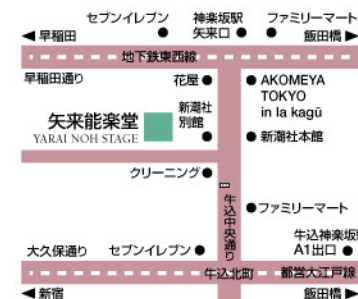
『能楽手帖』
権藤芳一著
能楽を解説で得るよりも、便利な能楽鑑賞事典。見聞き一冊で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観客の手引きに最適な書。巻末に用語解説も付す。

新装判・三三〇頁
本体一四〇〇円十税

ご注文・お問合せ
能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
TEL 03-3264-1084
FAX 03-3264-0847
shoin@emery.palazzo.jp

【注意事項】

- 記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- 許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- 携帯電話は電源からお切りください。
- 演能やほかのおお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合がございます。



能・狂言
Noh Kyogen
観世九臈会
かんぜきゆうこうかい
矢来能楽堂

162-0805 東京都新宿区矢来町60

地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分 / 都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分 / 駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

観世九臈会 二月定例会

令和三年二月十四日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 午後十二時三十分開演 (正午開場)

番組

花月 長山耕三
 東北 永島忠修
 善界 桑田貴志

新井麻衣子
 小島英明
 佐久間二郎
 坂真太郎

—— 休憩五分 ——

(午後十二時五十分頃)

龜石井寛人
 鶴奥川恒成
 シテ 観世喜之

ワキ 森 常好
 ワキシ 梅村昌功
 ワキツレ 野口琢弘
 問 野村万作

大鼓 亀井忠雄
 太鼓 三島元太郎
 正昭 笛 一噌庸二

新井麻衣子
 遠藤和久
 弘田裕一
 駒瀬直也
 奥川恒治

後見 観世喜正
 永島忠修

(終演予定 午後一時四十分頃)

【第二部】 午後三時開演 (午後二時三十分開場)

番組

狂言 八句連歌
 シテ 石田幸雄
 アト 野村万作

後見 内藤 連

—— 休憩十分 ——

(午後三時三十五分頃)

ツレ 河井美紀
 シテ 中森健之介

ワキ 館田善博
 ワキツレ 野口能弘
 問 野村裕基

大鼓 柿原光博
 太鼓 大川典良
 小鼓 森澤勇司
 笛 八反田智子

金子仁智翔
 永島 充
 中所宜夫
 遠藤喜久
 坂真太郎

附祝言

(終演予定 午後四時三十五分頃)

《あらすじ》

能 鶴亀

新春、唐の朝廷では新年最初の四季の節会(季節の節目に行われる集会)が催される。そして、都の不老門において、皇帝(シテ)がお出ましになられ、役人や高官だけでなく、諸国万民も拝賀する。宮殿の庭園は金銀珠玉や錦などできらめき、池の汀には鶴と亀が戯れ遊んでいる。そのうちに大臣(ワキ)が、例年のように鶴と亀を舞わせ月宮殿にて舞楽を奏せられるよう、皇帝に申し上げると、緑の亀と丹頂のの鶴は共に舞い、千年万年の齢を皇帝に授け奉る。それを御覧になった皇帝は喜びのあまり、直々に舞楽を舞わせられるのであった。

狂言 八句連歌

何かと理由をつけて借金を返さない男の家に貸し手が催促に行く。居留守を使って逃げようとする男を、貸し手はなんとか捕まえて自宅に連れ帰り、返済を迫る。男が話しをはぐらかしている内に、表八句の連歌をする事になる。二人は互いに貸し借りの駆け引きを句に詠み込みあう。男が恋の歌を詠むと：

能 葵上

左大臣の息女で、光源氏の正妻の葵上が、近頃病に臥せていた。高名な僧に様々な加持祈禱を試させても一向に良くならない。原

因を突き止めるために官人(ワキツレ)は、照日の前(ツレ)という、有名な梓巫女(梓弓という小弓を用いて神懸り、口寄せ、占等を行う祈禱師)を召出す。巫女が梓弓を鳴らし、呪文を唱えると、破れ車に乗った六条御息所の生霊(シテ)が現れる。御息所は源氏の愛を失った恨みを述べ、葵上に祟りをなそうとする。巫女が心を鎮めようとするも、御息所は嫉妬心を益々募らせ、葵上を連れて行くこうとする。(物着)

そこで官人は急使(アイ)を立て、横川の小聖(ワキ)を呼び迎える。小聖が加持を行うと、御息所の怨霊(シテ)が鬼形となって現れ、なおも葵上に祟ろうと床に迫る。しかし怨霊は、小聖の必死の祈禱により折り伏せられ、この世の苦しみが解放される。